

# 東亜同文書院大学から愛知大学へ — 広島展示会・講演会 —

2014年10月21日(火) - 26日(日)  
広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー  
第2展示室

開館時間 午前9時～午後5時  
住所 広島市中区上幟町2-22  
・JR広島駅より約1km、広島城より約400m  
・市内路面電車・バス「縮景園前(しゅっけいえんまえ)」下車約20m  
・駐車場完備(有料)  
TEL (082) 221-6246

予約・入場無料

10月26日(日) 講演会 地下1階講堂

- 13:00-13:15 ごあいさつ  
佐藤 元彦〔愛知大学学長〕
- 13:15-14:00 講演1  
宮田 一郎〔東亜同文書院大学第41期・元NHKテレビ中国語講座講師〕  
大衆の中で大衆に学ぶ—母校・東亜同文書院を回顧する
- 14:15-15:00 講演2  
三好 章〔愛知大学東亜同文書院大学記念センター長・現代中国学部教授〕  
東亜同文書院の中国研究—根岸信を例に
- 15:00-15:45 講演3  
有森 茂生〔愛知大学法経学部卒〕  
藤田 佳久〔愛知大学東亜同文書院大学記念センターフェロー・名誉教授〕  
東亜同文書院関係の史資料収集とコレクション紹介

東亜同文書院(のちに大学)は1901(明治34)年、東亜同文会によって中国上海に創立。国際社会に貢献する人材養成を目的に、戦前海外に設けられた日本の高等教育機関としては最も古い歴史をもち、約5,000名(広島県出身者202名)を輩出しました。

1945(昭和20)年、東亜同文書院大学は半世紀にわたる歴史の幕を閉じ、翌1946(昭和21)年11月、最後の学長であった本間喜一(愛知大学第二・四代学長)を中心に、愛知大学は創立されました。「世界文化と平和に寄与すべき新日本の建設に適する国際的教養と視野をもった人材の育成」を建学の趣旨に掲げた愛知大学にとって、東亜同文書院はその前身ともいべき存在です。

「東亜同文書院大学から愛知大学へ」広島展示会・講演会は、横浜、東京、弘前、福岡、神戸、シカゴ、京都、米沢、名古屋、富山、那覇、長崎、岐阜に続く14番目の開催です。

東亜同文書院大学本館／虹橋路校舎  
(1917.4～1937.10)



お問い合わせ | 愛知大学東亜文書院大学記念センター  
〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1 TEL 0532-47-4139 FAX 0532-47-4196  
E-mail : Toa@ml.aichi-u.ac.jp

主催 | 愛知大学東亜同文書院大学記念センター 後援 | 中国新聞社／一般財団法人霞山会／公益財団法人愛知大学教育研究支援財団

愛知大学東亜同文書院大学記念センター／文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業